## CCRC News #21

November 12, 2019

2019年11月12日に、東京都千代田区のイイ ノカンファレンスルームに於いて、「触媒インフォ マティクス」シンポジウムが開催されました。本 シンポジウムは、2015年に理化学研究所、北海道 大学、産業技術総合研究所の3機関が連携して「触 媒インフォマティクス」プロジェクトを立上げた 時から毎年開催されています。2018年には物質・ 材料研究機構も加わり、連携の輪を広げました。 今年は、理化学研究所が主催となり、150名を超 える参加者のもとに第5回目のシンポジウム「知 の融合が加速する触媒研究」を開催しました。2 件の招待講演と5件の連携機関からの講演が行わ れました。触媒科学研究所からは、鳥屋尾隆助教 が「機械学習を用いた固体触媒研究」と題する講 演を行いました。来年度は触媒科学研究所が主催 となり、触媒科学研究所で第6回「触媒インフォ マティクス」シンポジウムを開催します。

(記 西田 まゆみ)

The 5<sup>th</sup> Symposium of Catalyst Informatics was held on November 12 at Iino conference room A (Venue: 2-2-1Uchisaiwai-cho Chiyoda-ku Tokyo). In 2015, ICAT, AIST and Riken launched the project named "Catalyst Informatics" and held the 1<sup>st</sup> Symposium of Catalyst Informatics. In 2017, NIMS joined the project and the symposium has been supported by ICAT, Riken, AIST and NIMS.

The main host of the 5<sup>th</sup> symposium was Riken. The symposium involved two invited lectures and 6 research reports from four research institutes (ICAT-Riken-AIST-NIMS). From ICAT, Assistant Professors Takashi Toyao gave a lecture.

The  $6\,^{\rm th}$  symposium will be hosted by ICAT in 2020.

(Mayumi Nishida)



第 5 回「触媒インフォマティクス」シンポジウムの講演 A lecture from the 5<sup>th</sup> Symposium of Catalyst Informatics